

私の留学体験記

広島県立竹原高等学校 3年 杉森 優花 (すぎもり ゆうか)
留学期間 平成 29 年 8 月 12 日～平成 29 年 8 月 26 日 (15 日間)
留学先 (セブ島, フィリピン)

私は 8 月 12 日から 8 月 26 日までの 2 週間をフィリピンのセブ島で過ごしました。私は将来英語を生かした仕事に就きたいと思っており、自分の英語力を高めるために短期留学をすることに決めました。初めての留学でしたが、行く前は不安よりも楽しみの方が大きかったです。

現地では午前中は現地の高校へ通って drama, music, PE の授業を受けました。それぞれの授業で、現地校の生徒がバディになってくれて、ダンスや演劇やウクレレの指導をしてくれました。初めは何を言っているかもわからないし、自分で言いたいこともうまく伝えられず、とても苦労しました。バディが言うことをよく聞いて、使っている表現を真似しているうちに、少しずつ言えることが増えていった気がします。午後はウェルツ校という語学学校で英語の授業を受けました。授業では「WHY?」という質問をととてもよくされ、いつも理由を求められました。そのせいで、常に考えや発言の理由を考えるようになりました。最終日に行った広島についてのプレゼンテーションでは、私はカーブについて発表しました。発表に向けて、授業で英文を自分で考えたのはとても良い勉強になりました。先生にたくさん直されたけれど、自分の言いたいことを自分の力で英文にして、覚えて発表できたことで、英語に自信が持てるようになりました。自由時間は一緒に留学した日本人の高校生たちと過ごしましたが、その時も英語で話そうとみんなで決めて、なるべく英語で過ごすようにしていました。休日はアイランドホッピングをして、海に潜ったり魚にエサをあげたりして楽しみました。また孤児院を訪問してボランティアをする機会もありました。現地の社会問題に触れ、いろいろな国が深刻な問題を抱えているのだと知り、自分にできることは何かを深く考えさせられました。

2 週間があつという間に過ぎ、毎日がとても楽しく充実していました。私が留学を通して学んだことは、間違いをおそれず、恥ずかしがらず、積極的に人とコミュニケーションをとろうとする姿勢が、最も大切だということです。その姿勢があれば、英語力はどんどん付いていくと感じました。また、日本にはわからないことがたくさんあって、今まで知らなかったことにたくさん出会い、もっといろいろな国のことを知りたいと思うようになりました。そのためには英語でコミュニケーションをとれる力を身に付ける必要があります。この留学を通して、将来は大学に進学して英語を学びたいという気持ちが更に強くなりました。大学進学後にも留学して英語力をさらに磨き、国や文化や人種や宗教に関係なく、いろいろな人とコミュニケーションを取れるようになりたいと思います。

